

- 問1 明治時代初期、板垣退助や後藤象二郎らが政府に対し、薩摩・長州などの特定の藩出身者だけで政治が行われている現状を批判し、国民の意見を反映させるための議会を作るよう求めた文書を何といいますか。 (2018年 茨城県公立入試 類似)
1. 大日本帝国憲法                      2. 五箇条の御誓文                      3. 民撰議院設立の建白書                      4. 教育勅語
- 
- 問2 マルクスが社会主義の理論を体系化するに至った背景として、当時の社会状況を説明した文として最も適切なものはどれですか。 (2020年 佐賀県公立入試 類似)
1. 産業革命によって生産力が向上したが、資本家と労働者の格差や労働環境の悪化が深刻になったこと。                      2. 植民地支配をめぐる列強の対立が激化し、国家間の軍備拡張競争が限界に達したこと。                      3. 自由競争によって経済が自然に発展すると考え、国家の干渉を排除する自由放任主義が主流になったこと。                      4. 絶対王政を批判する啓蒙思想が広まり、市民が自由と平等を求めて革命を起こしたこと。
- 
- 問3 明治時代の自由民権運動において、板垣退助らが「自由党」を結成した主な目的として最も適切な説明を選びなさい。 (2025年 山口県公立入試 類似)
1. 国会の開設に備えて、フランス流の自由主義を広め、国民の意見を政治に反映させる準備を整えるため                      2. 武力によって明治政府を打倒し、江戸時代のような幕藩体制を復活させるため                      3. 天皇による親政を強化し、内閣制度や議会制度を廃止して絶対王政を確立するため                      4. イギリス風の穏健な立憲政治をモデルとして、都市の中産階級や知識人を組織するため
- 
- 問4 ポーツマス条約の内容と、その後の日本の動向について述べた文として、正しい組み合わせはどれですか。 (2022年 福島県公立入試 類似)
1. 遼東半島南部の租借権を獲得し、南満洲鉄道株式会社を発足させた。                      2. 多額の賠償金を獲得し、それを資金に金本位制を確立した。                      3. 山東省の権益を引き継ぎ、八幡製鉄所での生産を拡大させた。                      4. 台湾と澎湖諸島を領有し、総督府を設置して統治を開始した。
- 
- 問5 明治新政府が1871年から約2年間にわたって欧米諸国に派遣した大規模な使節団について、その主な目的と内容を説明した文として最も適切なものはどれですか。この使節団は、岩倉具視を全権大使とし、政府の要職にあった木戸孝允や大久保利通らが参加したものです。 (2023年 香川県公立入試 類似)
1. 江戸幕府が結んだ条約を破棄し、鎖国体制を再び確立するための交渉を行うこと                      2. 不平等条約の改正に向けた予備交渉を行うとともに、欧米の進んだ制度や文化を視察すること                      3. 日清戦争の講和条約である下関条約の締結に際し、欧米諸国の支持を取り付けること                      4. 室町幕府が明との正式な国交を樹立し、勘合貿易の開始を要請すること
- 
- 問6 明治時代の統計において、1903年から1905年にかけて租税による収入額が急増している状況が見られます。この時期、政府が国民に重い増税を課してまで多額の資金を必要とした、歴史的な背景として正しいものを選んでください。 (2020年 熊本県公立入試 類似)
1. 八幡製鉄所の建設をはじめとする、重化学工業の国有化を急いだため。                      2. 日清戦争に勝利した結果、下関条約で義務付けられた賠償金を清に支払うため。                      3. 日露戦争の継続に必要な莫大な戦費を調達し、戦時財政を維持するため。                      4. 欧米諸国から不平等条約の改正を勝ち取るための外交資金が必要だったため。
- 
- 問7 1889年に明治政府によって発布された、天皇を主権者とする近代日本最初の憲法の名称を次の中から選びなさい。 (2018年 岡山県公立入試 類似)
1. 教育勅語                      2. 大日本帝国憲法                      3. 五箇条の御誓文                      4. 日本国憲法
- 
- 問8 1904年に始まった日露戦争を終結させるために、アメリカの仲介によって結ばれた講和条約の名称と、その条約で日本が獲得した権利の組み合わせとして正しいものはどれか。 (2023年 香川県公立入試 類似)
1. 二十一条の要求 ― 山東省にあるドイツの権益を引き継ぎ、南満洲での権益を期限延長させた。                      2. 日露和親条約 ― 択捉島と得撫島の間を国境とし、樺太を両国民の雑居地とした。                      3. 下関条約 ― 遼東半島の割譲や台湾の譲渡に加え、巨額の賠償金を得た。                      4. ポーツマス条約 ― 旅順・大連の租借権や、長春以南の鉄道利権、樺太の南半分を譲り受けた。
- 
- 問9 1885年、明治政府は近代国家としての体制を整えるために行政組織を刷新し、内閣制度を創設しました。このとき、初代の内閣総理大臣に就任した人物は誰ですか。 (2024年 兵庫県公立入試 類似)
1. 大隈重信                      2. 板垣退助                      3. 山県有朋                      4. 伊藤博文
- 
- 問10 明治政府が欧米諸国へ派遣した岩倉使節団は、幕末に結ばれた不平等条約の改正を目指しましたが、交渉は難航しました。この時、日本側が特に改正を求めた不平等な条約内容の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2015年 山口県公立入試 類似)
1. 日本から輸出される生糸の量を制限する制度と、外国貨幣の日本国内での通用禁止                      2. 軍隊を保持することを禁止する制限と、天皇が外交を行う権利の否定                      3. 外国人に日本での裁判権を認める領事裁判権と、日本に関税を決定する権利がない関税自主権の欠如                      4. キリスト教の布教を公認する義務と、外国人の居住地を制限する居留地の設置
- 
- 問11 1880年代の条約改正交渉において、鹿鳴館を中心に行われた「欧化政策」に関連する記述として、その背景や結果を正しく説明しているものはどれですか。 (2026年 山口県公立入試 類似)
1. 井上馨が交渉にあたったが、外国人判事の任用といった妥協案が国内の反発を招き、改正は失敗した                      2. 小村寿太郎がポーツマス条約の締結と同時に、欧化政策の成果として全ての不平等条約を改正した                      3. ノルマントン号事件をきっかけに欧化政策への支持が強まり、ただちに関税自主権が完全に回復した                      4. 陸奥宗光が鹿鳴館での外交を成功させ、青木・金子会談を経て領事裁判権の撤廃を実現させた
- 
- 問12 条約改正の経過をまとめた資料において、1911年に小村寿太郎がアメリカとの交渉で成し遂げた「関税自主権の回復」の説明として、当時の日本の状況をふまえた内容として最も適切なものはどれか。 (2026年 栃木県公立入試 類似)
1. 開港場に居留地を設ける権利を廃止し、外国人の国内での居住や営業の自由を認めた。                      2. 日本国内で罪を犯した外国人を日本の法律で裁くことが可能になり、司法の独立が達成された。                      3. 外国に対して最も有利な条件を自動的に与える義務を廃止し、貿易上の制限をなくした。                      4. 輸入品にかかる関税の率を日本側が自主的に決定できるようになり、不平等条約が完全に解消された。
- 
- 問13 明治時代後半、日本の産業が軽工業から重工業へと発展する基礎となった官営の八幡製鉄所について、その設立の背景と所在地の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2017年 埼玉県公立入試 類似)
1. 地租改正による税収をもとに、群馬県に建設された。                      2. 日清戦争で得た賠償金をもとに、福岡県に建設された。                      3. 第一次世界大戦の好景気をもとに、兵庫県に建設された。                      4. 日露戦争の勝利による賠償金をもとに、神奈川県に建設された。